

## 【特別インタビュー】

～ジャンルの垣根を飛び越える新世代作家～

# 初野晴

2009年11月下旬、名古屋にて、新進気鋭のミステリ作家である初野晴先生にインタビューをさせていただきました。その場には担当編集者のM岡さんもお同席下さり、「Wで美味しい!」、もとい、作家と編集者という二つの立場から執筆に関するお話を聞くことができました!

インタビュアーが三人もいるという異常事態でしたが、きさくに、そしてスマートにお答えしていく初野先生のお姿は会員に（自分も含めて）大きな影響を及ぼしたようです。兼業作家として活躍している初野先生のお話は、小説を書く人にとって強い刺激を受けるのではないのでしょうか。独特な存在感を放つM岡さんと初野先生とのやりとりも必見です!

初野晴（はつのせい）

1973年、静岡県生まれ。法政大学工学部卒。2002年、横溝正史ミステリ大賞を『水の時計』で受賞し、作家デビュー。『退出ゲーム』で表題作が日本推理作家協会賞短編部門の候補作となる。作風は、いわく「ちょっと不思議系」。様々なジャンルを横断しながら、社会の暗部や人間の真理をミステリとして描き出している。他の著作には、『漆黒の王子』、『1/2の騎士 ～harujion～』、『トワイライト☆ミュージアム』、『初恋ソムリエ』がある。

聞き手

T = 高塚 菜月

K = 小館 公洋

S = 白山 裕太郎

## ミス研叙任式

### 友の誘い<sup>いさな</sup>

——(T)——ではインタビューを始めさせていただきます。まず筑波大学ミステリー研究会流の自己紹介なんですが、好きな作家・探偵・犯人から教えていただけますか？

**初野** 作家は、稲見一良【※1】さんがすごく好きです。ちよつとファンタジーの味付けがあるんですけど、女性にも優しいハードボイルド作品を書くのが上手いんだ。探偵も、稲見さんの『獵犬探偵』に出てくる竜門探偵が好き。犯人は、中学生の時に読んですごいと思ったのは横溝正史さんの『仮面舞踏会』の犯人。希代の悪女だね、しびれた。

——(T)——横溝正史さんはお好きなんですか？

**初野** 中学時代に読破しました。ただそれ以降読書の習慣はつかなかったから、読書好きっていうよりは横溝好きかな。

——(T)——今ちよつとお話が出たので、続いて読書歴についてお聞きしたいと思います。横溝正史さん以外特に読んでいなかったとのことですが、ミステリ以外で好きな作家や作品があれば教えてくださいませんか？

**初野** 海外で言うとジェフリー・アーチャー【※2】が好きです。ジェフリー・アーチャーの作品は大体読んでいますね。国内作品で言うと、最近一押しは鮎村行【※3】さんの粘膜シリーズかな。あとは平山夢明さんの『DINNER』も面白かった。『DINNER』は本当に最高！

——(K)——傾向が偏っている気が(笑)

**初野** 偏っているよね(笑) 壮大なホラ話っていうのかな、そういう話も大好きなんだ。

——(T)——ご自身の作品の傾向とは少し違いますね。**初野** 自分の小説って最初に不思議な設定というか、非日常な嘘をつくよね。目指す方向は少し似ているかもしれない。

——(T)——ミステリマガジンのインタビュー【※4】で、『しあわせの書』が大好きだとおっしゃっていました。

**初野** 馬鹿馬鹿しいといったら大変失礼だけど、ああいう作者の試みは大好きなんだ。読者を驚かせるための労力の質が全く違う。尊敬しますし、読み終わった後も興奮して忘れられなかった。あれは普及用と読む用に二冊買いました。

——(T)——他紙のインタビュー【※5】で、ミステリはあんまり読んでこなかったけど、ドキュメンタリーやルポルタージュはよく読んでいたと仰っていました。どんな内容のものだったか教えてくださいませんか？

**初野** ノンフィクションは昔から好きで、やっぱりよく読むね。それで必ず自分の作品には引用・参考にした著作だけでなく、影響を受けた本も敬意を表して参考文献として載せてます。読者が小説で扱った内容に興味を持ってくれた時の、ガイドラインみたいな意味もあるね。あれで読書の輪が広がればいいなって思う。最近だと『セックスボランティア』は読んで。障害者の性風俗を扱っていて、話には聞いていたけど、読んで想像と違った。あとはマニアックな毒物の凶鑑を買っちゃったんだよね(笑) 全体的に見ると事件モノが多いなあ。

※1 稲見一良(いなみいつら)

一九八九年『ダブルオー・バック』で本格的に小説家デビュー。『ダック・コール』で第四回山本周五郎賞を受賞。一九九四年死去。

※2 ジェフリー・アーチャー 作家であり、元イギリス上院・下院議員。幽霊会社に投資して全財産を失ったり、政界をスキャンダルで辞任するなど、かなり波乱万丈な人生を送ったようである。

※3 鮎村行 二〇〇八年、『粘膜人間』で第十五回日本ホラー小説大賞長編賞を受賞しデビュー。その壮絶な描写で一部にファンを拡大中。

※4 ミステリマガジンのインタビュー 「ミステリマガジン」(早川書房)二〇〇八年十二月号に掲載されています。

※5 他紙のインタビュー 「文蔵」(PHP研究所)四一号(二〇〇九年二月号)を参照。

——(K) 小説中で起こる事件の参考にでしょうか？

**初野** それもある。「新潮45」【※6】が出してるような過去の事件のルポルタージュなんかも読むよ。あとは理系分野の内容を扱った本だね。工学系の音波とか電磁波とか、ああいったものは本当に好きでさ、普通に読んじゃうんだ。

——(T) 読みながら、これは作品のネタに使えるかもとか思いついたりしますか？

**初野** いや、ネタ探しのためには読まなくて、普通に自分の楽しみで読む。

——(T) もし面白いルポルタージュを選ぶためのポイントみたいなのがあれば教えていただきたいんですが。

**初野** それは嗅覚だね！(笑) あとは経験。だからつまらない本もたくさん読んでください。自分の小説って、こんなネタどこからもつてきたんだっていうのがあるんじゃないの？

——(T) ありますね。

**初野** 存在しない色とか、ラジオの鉱石とかさ。『1／2の騎士』で言うと「インベイジョン」の章の××の××【※7】。あれは参考文献に載せている分厚い書籍があつて、それを読んでイメージを膨らませたり、あとは普段営業をしているから、お客さんから伝聞で色々ヒントをもらえるね。結果論だけど、そういう経験が作品に結びついているのかもしれないな。

——(T) では、これまでに読まれた全ての本で、最も影響を受けている作家、あるいは作品を挙げると何でしょうか？

**初野** いないし、ないよ。一番影響を受けたジャンル

なら本格ミステリかな。大学時代、ミステリ作家の村崎友【※8】くんは、ガチガチの本格を薦められた。それが書き始めのきっかけになったと思うんだ。

——(T) それまでご自分で読んできたものと、本格に何か違うところがあったんでしょうか？

**初野** もともと横溝から入ったから、すつと入ったんだよね。『十角館の殺人』【※9】や、中西智明【※10】さんの『消失！』とか。あと麻耶雄嵩さん、我孫子武丸さん、島田荘司【※11】さんも読んだ。当時は周りがみんな新本格【※12】を読んで、自分の中にそのロジックが染み込んだんじゃないよ。その時にも恋愛小説を薦められていたら、俺はもしかしたら恋愛小説家になっていたかもしれない(笑)

——(K) ミステリから入って、そのままミステリを読み続けているという感じですね。

**初野** そうだよ。だから逆に恋愛小説を書けついでにわかれたら書けないし、青春モノを書いてと言われたら、どうしようってなっちゃうね。

——(K) 青春モノでも、素晴らしい作品を書いていらつしやいます。

**初野** 『退出ゲーム』のシリーズは青春小説と思われがちだけど、デビュー作から軸足は変わってないんだよ。ありえない三角関係や、真っ白なルービック【※13】みたいな日常の中の非日常を描いているから、日常の軸が大きくぶれてると思うんだよ。奇人変人も集まってるって、チカちゃん以外全員変だよ。そういう要素から見ても、学園モノのファンタジーという意識で書いてるなあ。

——(K) ファンタジー小説だと、どのような作品をお読みになられるんですか？

※6 新潮45

新潮社が発行しているジャーナル誌。

※7 ××の××

見えない侵入者の正体。

※8 村崎友

二〇〇四年『風の歌、星の口笛』で第二十四回横溝正史ミステリ大賞を受賞しデビュー。初野先生とは大学時代からのお友達らしいです。

※9 十角館の殺人

綾辻行人のデビュー作。日本のミステリ界に多大な影響を与えた作品であり、思い入れが深い人も多い。

※10 中西智明

一九九〇年『消失！』でデビュー。その大胆な仕掛けが話題になった。

※11 麻耶雄嵩、我孫子武丸、島田荘司

いずれも(新)本格を代表するミステリ作家です。

**初野** そこは語弊があるから説明するね。実はファンタジー自体に造詣は深くないんだ。俺は日頃営業の仕事をしているんだけど、疲れてるときってリアリティのある小説を読みたくないんだ。金融小説とかさ(笑) そういう時は、馬鹿馬鹿しいホラ話とか、日常世界に小さじ一杯くらい非日常が入ってるちよつと不思議系の話が読みたい。だからファンタジーを意識してなくて、強いて言うならちよつと不思議系かな。

——(K) 例えば「グイン・サーガ」【※14】のような既存のファンタジーのイメージではなく、自分の中で膨らませたファンタジーのイメージですか？

**初野** 「グイン・サーガ」(笑) あの大作とは目指す方向が全く違うよね、自分が書いているのは。非日常だけど、現実世界と地続きの部分もあるじゃん。

——(T) では作家になられてから、読書に変化はありましたか？

**初野** ありました。小説が趣味の頃は月三十冊くらい読んでたんです。

——(T) えっ！ それは働きながらですか？

**初野** 働きながら。集中して読めるんだ。でも小説家になってからは減った。

——(T) それは執筆に時間をとられるからですか？

**初野** 後者だね。書いていると活字が嫌になる。見るだけで吐き気がする時もあった。だから、今は参考資料としてのノンフィクションも含めて月十冊くらいになったよ。そもそも自分は二十一、二歳まで読書体験がそんなに多くなかったから、取り戻そうって必死に読んでた時期が三年間くらいあったんだよね。

——(T) では、初野先生の読書暦の中から、大学

生に一冊薦めるとしたら何でしょう？

**初野** やっぱリジェフリー・アーチャーの『ケインとアベル』かな。これはぜひ読んで欲しい。片やジプシーの落として子で貧民からホテル王に成り上がった男、片や銀行家の体で恵まれた道を進み頭取になった男がいて、一九〇〇年代のアメリカ史を背景に、ふたりの数奇な運命がぶつかるんだ。これを読むと、できる人っていうのは寝る間も惜しんで勉強をしているのがよくわかる。AV男優の加藤鷹さんも言ってたよ。お金儲けするのなら、寝ないで仕事するか、悪いことをするかどちらか二つだつて。

——(T) ちなみに『ケインとアベル』はいつごろお読みになったんですか？

**初野** 大学入ってすぐに偶然読んだんだ。これから社会人になろうって時だったんだけど、モチベーションが上がったね。

——(T) では最後に、コーヒーとか紅茶とか読書のお供は何がありますか？

**初野** 集中して一気に読むから、読書の最中にあんまり飲み食いはいらないな。

——(S) 本に線を引きながら読むとのことですが【※15】、現在でも続けていらっしゃいますか？

**初野** しています。ノンフィクション系と、あとはミステリーの中でも特に海外作品を読む際は、三色ペンを使いますね。読み返すときに、構造を論理的に崩して自分なりに理解したいので、赤・青・緑にわけて伏線に線を引いてみたり。そうやって本を一冊つぶすつもりで読んでみると楽しいよ。

——(T) 大学時代からしていらしたんですか？

**初野** そうだね。これは理系学生の場合【※16】はよ

※12 新本格

ここでは綾辻行人『十角館の殺人』を嚆矢とする「新本格ムーヴメント」、あるいは笠井潔提唱の「第三の波」のことを指す。魅力的な謎とその論理的解決を重視する。

※13 ありえない三角関係や真つ白なルービックキューブ

前者は「女↑男↑男」の関係。勝者を出すんですか？ 後者は『退出ゲーム』収録の「クロスキューブ」より。六面全部が白いルービックキューブを解く話。

※14 グイン・サーガ

豹頭の戦士・グインを主人公としたサーガ(大河小説)。二〇〇九年五月二十六日に作者の栗本薫が死去したため、同年十二月に出版された第一三〇巻『見知らぬ明日』(早川書房)が未完のまま最終巻となった。

※15 線を引きながら読む

「文蔵」(PHP研究所) 四一号(二〇〇九年二月号)を参照。

くやるんだ。

——(K) 文体についてですが、書き始めた頃に参考にした作家さんはいらっしゃいますか？

**初野** 最初、辻仁成【※17】さんの文章を模写をしたんだ。当時は『ピアニシモ』とか、『母なる風と父なる時化』の頃だね。これがもう大失敗で、全く目指す方向が違った(笑)。その後にも模写したのは宮部みゆきさんかな。行間の取り方とか、場面転換とか視点移動を重点的に勉強したから、特に文体は意識しなかったけど。

——(K) 今の文体は書きながら自然にできていったんですね。

**初野** そうだね。どちらかというところ、捉え方が文章というよりはテキストだね。文体で何かを訴えるより、今はまだ物語で伝えたいんだ。なるべく本文の中で自分語りとか心理描写とかは減らしているほうだと思う。

——(K) 初野先生がお好きな稲見さんを意識されることはありますか？

**初野** 創作に関しては、稲見さんやハードボイルドに影響を受けてないな。でも『1/2の騎士』で、主人公の女子高生にハードボイルドを意識したような決め台詞をしゃべらせている。あんまりその企みは成功したとはいえないかな(笑)

——(T) (笑) いえ、読み解けていないだけです。

## 開幕戦 Survival — サバイバル —

——S 柔道を始めたきっかけは何ですか？【※18】

**初野** うちの地元は当時『ビー・バップ・ハイスクール』【※19】という不良映画の撮影現場になった街で、ヤンキーが多かったんだよ。それで高校から喧嘩に強くなりたくて始めたんだ。自分の身は自分で守れって感じだね。

——(K) 学校が荒れていたたりしたんでしょうか？

**初野** 荒れていたけど、別の問題もあってね。うちの学校はニュースステーションで報道されたんだ。当時の校則で男子生徒は全員坊主だった。でも一部の不良はやんちゃな髪型を絶対やめなかった。だから学校側は卒業アルバムで、その一部の不良の写真を載せなかった。クラスの集合写真で顔写真がトランプみたいになってる。ページがあるでしょ？ その中に花壇の写真が混じっているの。それをずっと続けてた。

——(T) (笑) それは許されたんですか？

**初野** それがPTAも黙認してたから大問題。

一同 (笑)

**初野** 昔は今と比べてだいぶ人権問題に関心がなかった気がする。マスコミに取り上げられたことで大問題になって、俺が卒業すると同時に頭髪は自由になったな。十代前半の丸坊主の青春時代を返して欲しい。

——(K) 初野先生が高校生の頃だと八十年代ですよね？ その頃は不良が多かったんですか？

**初野** 校内暴力なんて普通にあった。「あれ、あいつクラスにいないぞ」って話していたら、トイレでポコポコにされているような環境でさ、サバイバルだよ。

※16 理系学生の場合

初野先生は法政大学工学部のご出身です。

※17 辻仁成

一九八九年『ピアニシモ』で第一三回すばる文学賞を受賞しデビュー。一九九七年『海峡の光』で第一二六回芥川賞を受賞。インタビュアーの個人的なおススメは『そこに僕はいた』です。

(T)

※18 柔道

「ミステリマガジン」(二〇〇八年一月号、早川書房刊)「CREA」(二〇〇九年九月号、文藝春秋刊)等のインタビュで柔道部に所属していたことをお話しされています。

※19 ビー・バップ・ハイスクール

ツッパリダブリコンビのヒロシとトオルが喧嘩や恋愛に明け暮れる日々を描いた、きうちかずひろの漫画。映画化の際に、ロケ地として頻繁に静岡県が使われていた。エキストラが当地の不良だったそう。

——(S) すごいですね……。では次の質問に行きます。好きな柔道家はいらっしゃいますか？

**初野** 総合格闘技に転向した吉田秀彦【※20】さんは好き。得意技が内股で、自分と同じだったから。

——(T) 国際大会とか見られたりしますか？

**初野** たまに見ます。でも最近の柔道の中継って見てもつまらないでしょ？ ポイント制重視の国際化ルール【※21】はつまらないな。レスリングと変わらないうね。やっぱり、柔よく剛を制す。一本勝ちがいね。

——(S) 延長戦のゴールデンスコア【※22】とか、腑に落ちないですよ。

**初野** 君の得意技は？

——(S) 自分は払い腰です。

**初野** 僕は内股【※23】が大好きなんだよ。スカスカ決まると気持ちいいじゃん。

**M岡** 内股ってどういう技ですか？

**初野** 相手の内腿を片足ではね上げて倒すんだ。そう言えば柔道している当時は、耳に血がたまって注射器で抜いたよ。ラグビー選手とか柔道家って耳が餃子じやない？ あれは内出血してたまっちゃうとなるんだ。血が固まる前に抜けばああい風にはならない。——(S) そうなんです。柔道部で思い出に残っている出来事がありますか？

**初野** ないなあ(笑) 遊べなかったし、本当にモチなかった。当時柔道部は年功序列で、先輩のしごきもきつくてね。ただ今振り返ると、ストレス耐性や我慢強さは養われたかもしれない。

——(S) 社会に出てから実感する場面が多いですか？

**初野** そうだね。特にストレス耐性。職場では新入社

員の指導者をしているけど、最近の若手は潰れる人が多いかも。日本って仕事辞めるとキャリアが大幅ダウンするケースが多くて、二、三年で下手に辞めることは大卒の意味が無くなる位の大変さがある。東大出身や京大出身で一流企業に入ったんだけど、二年保たなくて、そこから三ランクくらい下の企業に入り直して苦労してる人もいる。

——(T) そうですね、日本の企業に入るにはやはり新卒が大きいですよ。

**初野** ストレスには強くあつて欲しいな。逆にね、希望する会社に入れなくても、そこで粘って頑張れば良い意味での転職、キャリアアップができる。さつきとは全く違う意味だよ。どの一流企業にも狭いけど中途採用枠があるからさ、そこを目指す。頑張つてね。

——(S) 頑張ります。では、今後柔道小説を書かれる予定はありますか？

**初野** ないね(笑)

——(K) 『退出ゲーム』とか『初恋ソムリエ』のシリーズで柔道部を出すことはありますか？

**初野** 奇人変人って文化系の方が楽しいよね？ 体育会系出してほしい？ いま考えているのは密室研究会なんです。

**M岡** また変な人達が登場しそうですね(笑)

**初野** 部屋にドアノブないんだよね(笑) ええっ!? どうやって入るのって思うでしょ。ちなみにミス研を出そうと思ったんだけど、そのままミス研を出すのはストレートすぎてつまらないから、密室研究会にしたんだ。

——(S) 他の小説でも結構出ていますしね。【※24】

※20 吉田秀彦

柔道家であり、格闘家。一九九二年バルセロナオリンピック柔道男子78キロ級の金メダリスト。得意技は内股と大外刈り。

※21 国際化のルール

柔道の国際試合では外国人選手を中心に、相手にタックルを仕掛ける選手が増えたことが問題になっている。そのため来年からタックル技規制の新ルールが導入される予定。

※22 ゴールデンスコア

二〇〇三年の世界柔道選手権から導入。既定の試合時間で両者が同じポイントの場合、延長戦を行い先に効果以上のポイントをとった時点で勝負を決する。

※23 内股

言わずと知れた初野先生の得意技です。決まると一本をとりやすいといわれています。

※24 他の小説でも出ています

有栖川有栖氏の学生アリスシリーズ等、ミス研が登場するミステリは多い。

**初野** なるべく読者に先を読ませない書き方が好きだから、その辺は狙ってるかも。高校時代は体育会系だったから、文化系の生活自体が妄想の世界。逆に、妄想、憧れだから、自由に書けるんだな。柔道経験があるからって柔道を書く、なまじ知ってるから制約が多いんだよ。

——(S) 漫画とかでも知ってるってこんな風にできるわけがないっていうシーンもあります。

**初野** そうだね。柔道漫画だったら『柔道部物語』【※25】はおもしろいから読んでみた方がいいよ。

——(T) では最後に、高校時代をやり直せるなら、何部に入りたいですか？

**初野** 女に生まれ変わってチアガールがやりたい。これは村崎君と意見が一致しててね。劇的に青春時代が変わりそうな気がする。

——(T) 甲子園の中継とかに映ったりするんですか？

**初野** いや(笑) 体育会系のアクロバティカルな方のチアガール。

**M岡** 何で村崎さんとそんな話をしたのかが分からない(笑) ちなみに、下で支えたいんですか？

**初野** 上でポンポン飛びはねたいな！(笑)

**M岡** 初野さん、一体何を指してるんですか？

一同 (笑)

**初野** やっぱり普段できないことをやりたいよね。

**M岡** それはありますね。今の自分じゃ絶対できないってことをする……初野さんにとっては、体育会系チアガールだった？

**初野** そう。

**M岡** ステキです。私は運動が全然できないので、生

まれ変わるなら棒高跳びで高く飛べる人になりたいです。抜群の運動能力が欲しいですね。

——(T) それもなかなか特殊ですね(笑)

## 序盤戦 Idea — アイディア —

——(K) それでは続いて物語の作り方について質問をさせていただきます。まず始めに、小説の書き方を勉強した【※26】とのことですが、具体的にどのようなことをされたのでしょうか？

**初野** 当時は、村崎友君に視点移動、起承転結、プロットの書き方等、色々アドバイスを受けました。あとはミステリの場合、なるべく伏線は序盤で書くとかね。わりと基本に忠実なことです。

——(T) それは村崎さんが分析してご自身で編み出した方法なんでしょうか？ それともミステリの書き方を村崎さんも勉強されていたんですか？

**初野** 元々彼はものすごい読書家で、パンクと本格ミステリを愛していたし、大学時代からミステリを書いていたんだ。俺は彼と比べると読書量ははるかに少ないし、小説の書き方なんて全然知らなかった。でも同世代のお前に書けるなら、俺にも書けるかもしれないって自惚れで始めちゃった(笑) 当時はウインドウズ3の時代だけど、富士通のワープロ【※27】を実家から持ってきてさ。富士通のワープロは面白いよ。「マウンテンバイク」って入力すると、悪魔の「魔」に「運転」で「魔運転バイク」になる。

※25 柔道部物語

柔道を題材にした小林まことの漫画。他の柔道漫画とは異なり、極めて現実的で、部活動の練習場面が多いという特徴を持つ。前述した吉田秀彦選手もこの漫画の愛読者だそうす。

※26 小説の書き方を勉強

「メフィスト」二〇〇九年4月号、講談社刊)に掲載された短編「14」のあとがきより。ちなみにこの「14」はオール読物新人賞に投稿されたものを、直さずそのまま掲載されたそうです。

※27 富士通のワープロ

恐ろしい変換機能に戦慄。そう言えばかつて「Ans.二十二」でエキサイト翻訳を使った胡散臭い企画がありました。ミステリに関する単語を英訳した後、さらにもう一度翻訳して元が何か当たるといったもの。「江戸川ラダムステップ」はさみの男性」は奇蹟です。

一同 (笑)

**初野** ばかやろうって感じでさ。当時は変換精度が悪かったね。それはそれで楽しかったけど。

—— (K) 村崎先生のアドバイスにあった視点移動は、具体的にはどのようなことでしょうか？

**初野** 一つのシーンで登場人物が増えると、初めて書く頃は視点が定まらなかったのね。AさんBさんCさんの視点個別になる。それは固定したほうがいいっていう、すごく当たり前のことを教えてもらった。

—— (K) それは一人称の小説の話ですか？

**初野** 三人称だよ。心理描写にしても、その頃はそれぞれの登場人物ごとに書いてたんだ。そうすると読者は混乱しちゃうよね。やっぱり視点も心理描写もしばったほうがいい。今はあんまり心理描写は書かないけど、基本は重要だと思う。

—— (K) 今のところ先生の小説ではどれも一人称だと思うのですが。

**初野** デビュー前に書いた二つの長編は三人称だったんだ(笑)【※28】 あとは、本格ミステリから入ったからやっぱり本格ミステリの書き方を意識したね。魅力ある謎を最初に出してから、伏線をはって、回収というごくスタンダードなことを。

—— (K) 他紙のインタビュー【※29】で仰っていた「本格のコード」というのは、今の書き方のことですか？

**初野** ガジェットやコードはどこかで意識してる。あと本格の場合は伏線の回収があるから、フローチャートが大切だね。それを最初から最後までワード文書でまとめて、プロットの段階でM岡さんには出してるよ。そうすると着地点もはっきりするし、迷わない。自分

の場合は書きながら考えるのは苦手だな。

—— (K) 小説家になるにあたって、村崎さんの助力は大きかったですか？

**初野** 大きかったですねえ。感謝します。ファミレスとかで作品の感想や駄目出しを言い合った。ただ当時は純粹に興味で、小説家になりたいとは思わなかった。読者は身近な友達や村崎くんがいて、忙しいなか読んでもらって感想を聞くのが楽しかったね。

—— (K) 小説家になりたいと思ったのは、就職してからですか？

**初野** なりたいというか、腕試しだね。身内以外の評価を知りたくてオール読物新人賞【※30】に投稿した。

ちようど伊坂幸太郎【※31】さんがサントリーマスティー大賞【※32】の最終候補になった時期かな。僕がオール読物に投稿した時は、あとになって知ったけど、高野和明【※33】さんも投稿していたよ。

—— (K) 初野先生は作品にテーマというものをこめていらつしやいますか？

**初野** ないよ。テーマがあるとしても後からついてくる。ジャンルとかテーマに縛られて書くと、所詮テーマとかジャンルでしか評価されなくなる怖さがある。不自由なんだよね。だからあくまで自分は、自分が読者として読みたいものを書くように意識してます。取捨選択は読者の自由なので。

—— (K) 『水の時計』は、臓器移植がテーマのようには思えるのですが？

**初野** 主題は臓器移植じゃないんだ。王様とか貧民のようななストックキャラクターが出てくるような童話チックな小説が読みたくてさ、自分なりに解釈して書いた。

※28 デビュー前に書いた長編

それぞれ四百枚ほどのミステリとSF(「ミステリマガジン」二〇〇八年十二月号を参照)

※29 本格のコード

「文蔵」(PHP研究所)の四一号(二〇〇九年二月号)を参照。

※30 オール読物新人賞

文藝春秋が発行する小説誌「オール読物」の公募新人賞。

※31 伊坂幸太郎

二〇〇〇年『オーデュボンの祈り』で新潮ミステリー倶楽部賞を受賞しデビュー。『ゴールデンランバー』で第二十一回山

本周五郎賞を受賞。全く関係ないがTは氏の大ファンで「文章を読んでるだけで幸せになれる作家」であると語る。

※32 サントリーマスティー大賞

一九八三年から二〇〇三年まで朝日放送、文藝春秋、サントリが主催していた新人賞。受賞作はテレビドラマ化された。



——(K) 脳科学の設定は後からですか？

**初野** 後から。現代版の『幸福の王子』【※34】を書きたいと思ったのがきっかけで、あくまで肉付けの段階で脳科学の設定がついたんだ。脳科学とか臓器とかがテーマだと重いでしょう？ あと当時バイク盗まれちゃって、登場人物をバイクに乗せたかったんだよ(笑) レクイエムとしてね。

——(K) それであんなにがんばってすばるは臓器を運んでいたんですね【※35】。

**初野** そうそうそう！(爆笑) もうびっくりだよ。家に帰ったら、頑丈なチェンゴとバイクがないんだよね。警察に届けても、「今頃東南アジアのほうに行ってるかもしれないですね」って言うだけで。だから「海上保安庁の船で追いかけてくださいよ」って頼んだんだけど、東南アジアの高速艇は時速百キロ以上で、海上保安庁の高速艇は九十キロしか出せないから無理なんだって。追いつけないじゃん(笑)

——(K) ちなみに当時の愛車は何ですか？

**初野** ホンダのXLRの最終モデル。千葉に住んでいた頃はバイクが楽しかったけど、その後長野へ転動したのを機にやめちゃったんだ。冬のアイスバーンが怖くてさ。俺、意気地なしなんだよ。転勤族となった今は車なしでは生活できません。

——(K) では次に、「ファンタジー+ヤクザ」のように、離れた世界を描くことで表現できることがあるとすれば、どのようなことだと考えていらっしやいますか？

**初野** それは『漆黒の王子』の話だよ。ファンタジー+ヤクザ」の小説を俺自身があんまり読んだことないから、純粹に読者として読みたいと思って書いた

んだ。これはさっき話したジェフリー・アーチャーの影響を受けているかも。アーチャーの長編の多くは、二つの全く違う物語が同時並行してぶつかる形式なんだ。得てしてアーチャーの場合は、それが成長物語になるんだけど、自分の場合はあくまで本格のプロットとして機能させている。二つの別の物語が、終盤で交わる作品を書くのは好きだな。

——(K) 別の道筋がぶつかることで、ミステリ的な驚きが増加するんですね。

**初野** そうそう。世界が暗転する。

——(K) 世界の反転ではないんですか？

**初野** あの小説では暗転を目指した。成功したかどうかはわからないけど。

——(K) 今後組み合わせてみたい世界はありますか？

**初野** 近々SFを組み合わせるよ。

——(K) 『トワイライト☆ミュージアム』のような感じですか？

**初野** 『トワイライト☆ミュージアム』はジャンルミックスっぽいね。タイムトラベルは一度はやって見たかったんだ。矛盾しているけど、SFだと言ってもジャンルにはこだわってない。でも終末世界を描いた話を書くよ。

——(K) SFは普段お読みになられるんですか？

**初野** 名作ぐらいかな。ロバート・A・ハインライン【※36】の『夏への扉』とか。あと筒井康隆【※37】さんの『旅のラゴス』や『愛のひだりがわ』は好き。

——(K) 世界の組み合わせとジャンルの組み合わせとは違うのでしょうか？

**初野** それがさ、結局ミックスされて色々つつい

※33 高野和明

二〇〇一年『13階段』で第四七回江戸川乱歩賞を受賞してデビュー。

※34 幸福の王子

『幸福な王子』とも。オスカー・ワイルド原作の童話。王子とツバメの愛と自己犠牲の物語。

※35 それであんなに

暴走族や警察に追いかけられたり、白髪になったり、大変ですね……。

※36 ロバート・A・ハインライン

アメリカのSF作家。『夏への扉』(早川書房刊)はその代表作であり、二〇〇九年新訳版が出版された。

※37 筒井康隆

日本を代表するSF作家の一人。代表作は『時をかける少女』『文学部唯野教授』『ロートレック荘事件』等。たまに俳優としてテレビ番組に出演されています。

やうんだよね。書いているうちにジャンルとか世界とか意識しなくなっているかもしれない。

——(K) どういう基準で組み合わせているんですか？

**初野** 基準はないよ。俺って節操ないから。強いて言えは、書き始めの時の初期衝動かな。

——(K) 構想が降りてくるんですね。

**初野** 降りてくるねえ。  
——(K) 短編と長編を書く上で、何か違いはありますか？

**初野** 長編より短編を書くほうが難しいよ。短編で短くまとめるのはテクニクがいる。逆に長編はね、書くころと思えばなんとか書けるんだ。持久力があるのが長編で、テクニクがいるのが短編かな。でも自分は、短編の書き方を知らないんだ。長編と同じロジックで書いてから、短編でも百枚を越えちゃうんだよね。本当は四十枚から五十枚のちゃんとした短編を書きたいんだけど、まだテクニカルスキルがっていないのかもしれない。短編と長編の書き分けはまだ発展途上です。

——(T) 『トワイライト☆ミュージアム』は最初短編だったのを長編にされましたよね。

**初野** あれは元々長編だったの。それを短編のためにカットしたんだ【※38】。

——(K) では湖の場面も長編の時があったんですか？

**初野** そうそう。元々想定段階であった。だって短編バージョンはミステリがないよね？

——(K) あれが一番大きなトリックですよ。では短編と長編ではどちらがお好きですか？

**初野** どっちも好きだなあ。短編だったら宮部みゆきさんの『われらが隣人の犯罪』のような名短編集が好きです。宮部みゆきさんの初期短編はすごいよね。『われらが隣人の犯罪』と、あともう一つは何だったかな。

——(K) 『とりのこされて』ですか？

**初野** そうだつ！ それだつ！ さいつこうだね！  
——(K) 自分もよく読み返しました。

**初野** 俺もだよ。『とりのこされて』の最後に収録されている「いつかひとり」はよかつたね。だから特にどちらが好きとかはなくて、両方とも大好きです。

——(T) 雑誌に掲載された短編が四編程ありますが、その中で何か苦労したり印象に残っているという作品はありますか？

**初野** 「告解のカノン」【※39】はしんどかつたな。キリスト教の設定が必要で、文三【※40】の編集長に訊こうと思ったんですよ。でも他社の仕事だからね。

**M岡** 次は喜んでお話しするので仰ってください。

**初野** 短編では本格を全力投球で書いてください。労力で考えると、わりが合わないと思うときもある。本格に対しては、愛があるし、大好きなんだ。綾辻さんからは「本格の呪い」【※41】を受けたしさ。ただし偏見かもしれないけど、本格はやっぱ本格の読者にしか正當に評価されない気がする。本格であると同時に、本格以外の読者にも広く楽しんでもらえる作品を書かなければ駄目なんだけど、まだ技術がっていないから、やきもきしてる部分はあるね。

——(K) そうなんですね。これまでの作品の中で一番本格よりだと思う作品はどれでしょうか？

**初野** 自分が本格だと思って書いても、評価するのは読者だからね……。意外と『1/2の騎士』の「イン

※38 短編のためにカット

『忍び寄る闇の奇譚 メフィスト道場』(講談社刊)に短編として収録されている。

※39 「告解のカノン」

「パピルス」(幻冬舎、二〇〇九年八月号)に掲載。

※40 文三

講談社文芸局文芸図書第三出版部の略称。講談社ノベルスを中心に刊行している、全国のミステリ好きが憧れる部署。在籍していた編集者は、故・宇山日出臣氏、唐木厚氏、太田克史氏等。

※41 本格の呪い

綾辻氏は皆の前で「お前は本格を書け」と手の動作付きで呪うらしいです(「ミステリマガジン」二〇〇八年十二月号参照)。

怖つ。

ペイジョン」のロジックは本格じゃない？

——(T) 確かに『1/2の騎士』はミステリ色が強いですね。

**初野** 『1/2の騎士』は本格のロジック通りに書くように、各章ごと気をつけた。あと『退出ゲーム』シリーズも意外と本格のロジックで考えてるなあ。魅力的な謎を提示して、なるべく序盤で伏線を置き、きれいに回収していくようにね。「退出ゲーム」は上手くいった。

——(K) 『漆黒の王子』に関してですが、多くのトリックを、惜しげもなく出していますよね。

**初野** 『漆黒の王子』は力作だったんだ。個人的に好きなんだけど、なかなか好きっていう人がいないんだよな。

——(K) 自分は大好きです。

**初野** ありがとう、君は心の友だ。使った暗号【※42】も少し乱暴だけど、世界観を象徴する暗号としてはあれしかないんだよ。荒唐無稽だけど、下の世界の登場人物が単語で全部出てくるでしょ。

——(K) タクシーのアイディア【※43】も、一本の短編になりそうなネタだと思います。

**初野** あのネタはタクシーの運ちゃんに高崎で聞いたんだ。なかなか本で読んでもたどり着けないようなトリックとか情景を扱ってるよ。『漆黒の王子』は上の世界と下の世界でひとつの大きな嘘ついてるじゃん。だから地の文——ヤクザの抗争とか、浄水所の部分は真面目に書いてるんだ。例えば地下水があつて少し温度が保たれてるという情報で、最低限生きていけることをリアルに書けるんだ。ヤクザの抗争も、話し言葉とか実際に色々取材したよ。ヤクザの抗争に至る

ロジックも大方間違っていないと思う。

——(K) ヤクザに関する参考文献がないと思っていましたが、取材をされたんですね。取材はどちらにされたんですか？

**初野** それは言えないけど(笑) ヒントは元々自分柔道部出身でさ、そのつながりで県警の先輩後輩がいることだね。チャイニーズマフィアの乱入はちゃんと背景を考えだし、意外とリアルでしょ。やっぱりいくつかの情報で脇を固める必要がある分、一つの大きな嘘をつくのはいいね。そういう意味で力作だったんだけどさ、びっくりするぐらい売れなくて落ち込んだ。

——(T) 今日来る途中で紀伊國屋書店に寄って来たんですけど、おすすめ文庫の中にありました。

**初野** それは嬉しいな。参考文献にない情報は、実際に取材したんだなって思っているよ。

——(S) 『トワイライト☆ミュージアム』に脳死関連の参考文献がなかったのはなぜですか？

**初野** 『水の時計』でだいぶ勉強したから、何も参照しないで書けたんだ。あと関係ないけど、育った環境の影響で、暴力は日常の一部で特別なものじゃないという意識がある。だから自分の作品には暴力的な描写は多いかもしれない。

——(S) 魔女狩りの場面とかですか？

**初野** あの暴力シーンはけっこうエグイよね。ただ女性を読んで生理的に嫌悪感を覚えるような書き方はしない。女性が読んでこういうのは嫌だなっていうような場面は、大体わかるから。

——(T) そうですね。痛々しいと思ったことはありませんけど、嫌だなどはあまり思わないです。

**初野** それを聞いて安心しました。

※42 暗号

命が惜しければ睡眠を差し出すよう要求する正体不明の人物“ガネーシャ”から送られてくる暗号。

※43 タクシーのアイディア  
『漆黒の王子』(角川文庫版)の七十七頁より。

——(K) 『1/2の騎士』の円とサファイア、『漆黒の王子』の紺野と高遠のように、パートナーの形が物語の基本としてあると思います。キャラクター造型に関して意識されていることは何かありますか？

**初野** パートナーや、対になる設定は意識してます。少年少女だったり、ダークな大人のコンビだったりね。二人で一对というのは、個人的には好きだから自然と出てきちゃうね。自分が双子だから、何かを考えるにも二人でする感覚が身についてるのかもしれない。——(K) パートナーの形によって、描けるものはありますか？

**初野** そういった意識はないな。『1/2の騎士』の場合は、少年少女の出会い、冒険、別れ、再会といった物語の王道のシークエンスを自分なりの解釈で書きたかった。『トワイライト☆ミュージアム』の場合は年上の彼女との冒険を一度やってみたくてね。

——(K) なるほど。次に読者に軸足を置くのとこのとでしたが、小説を書く時はやはり読者を意識しますか？ それとも書きたい内容があって、それを優先していますか？

**初野** 普段営業で客商売してるから、やはり読者を意識してる。まず最初の読者は平均的なサラリーマンの自分で、自分が読みたいものを書く。あとはね、自分の会社の同僚は、本を読まない人がすごく多い。そういう人たちに、自分の本を読んで欲しいなっていう思いはあるね。書きたいことありきっていうのは、読者との相性があるから、あまりそこに重きは置かない。自分が求めているものはそういう方向じゃないかも。書きたいと思うことを優先してるかなんて、編集者の立場からすると鬱陶しいですか？

**M岡** いえいえ(笑) 著者の方が書きたい内容が、読者に響くテーマである可能性もあります。

**初野** そうだね、それが読者の嗜好とは違ってればいい。そもそも自分が書いているのは娯楽小説、大衆小説であって、文学とか文芸というのはその先の話。やっぱり読者に軸足を置いちやうなあ。ちなみに娯楽小説の大家である山田風太郎【※44】さんは大尊敬してます。甲賀忍法帖のメートル法記載は驚いた。

**M岡** 例えば、童話を自分風に解釈したいと思ったことなどは、初野さんご自身が読みたい、書きたいと思ったテーマなんですよ。

**初野** あ、そうかもね。なんだか自分で話して混乱してきたなあ。インタビュアーのカオスだね。最初の読者は自分だから、そこで自分は何を読みたいかということが書きたいことに繋がっている……

——(T) 今までお話をうかがってみて、初野先生はジャンル「俺」って感じがしますね。

**初野** (笑) ジャンル「俺」!! いいまとめだね。

### 新人戦 Another way —アナザー・ウェイ—

——(K) 続いてミステリについていくつか質問をさせていただけます。新世代の作家であり、今売れっ子の作家として期待されているプレッシャーはありますか？

**初野** 全然売れてないよ(笑) だから期待されてるプレッシャーもないな。自分は兼業作家だから、いつでも逃げ出せるしね!

※44 山田風太郎

推理・伝奇・時代小説家。『甲賀忍法帖』『柳生忍法帖』などの忍法帖シリーズが有名。

一同 (笑)

**初野** フットワークは軽いよ(笑) 自分の中ではバランスがとれてて、逆にそれがいいと思う。本業で生活のベースは稼げるから、自由に書けるしね。

——(K) 他の作家さんでライバルとして意識されている方はいらっしゃいますか？

**初野** いないですよ。

——(S) 海堂さんとかはどうですか？【※45】

**初野** 海堂さんは、同じ兼業作家として一年に三作はすごいから、執筆動機として俺もがんばろうと思ったんだ。ライバルなんておこがましいです。それに作家同士で張り合っても、読者にとつてなんの得にもならないよね。作家は個人商店だから、お互いをライバルとして意識するよりも、もつと別なところを意識したいですね。あえてライバルというならコミックやライノベル。出版不況と言いつつも、一部のマンガとかラノベといったジャンルでは売れてるから、その読者を一割でも本格に持っていきたいよね。三十代の知り合いが、発売日にラノベを買ってる姿を見ると、もうちよつとミステリとか買ってくれよと思う。

——(T) 逆側の流れですが、最近西尾維新【※46】さんがジャンプで原作【※47】をされてますね。

**初野** あの忙しいのに!?

——(T) 西尾さんの本の横にジャンプのコミックを置いておくと、すぐ売れるらしいです。普段ノベルスを買ってる人が、西尾維新さんが原作だとコミックも買っていく。

**初野** すごいねえ。西尾さんは実は五つ子じゃないかって、よくM岡さんに言ってるんですよ(笑)

**M岡** よく仰ってますけど、お一人です。グループじ

やありません(笑)

**初野** コミックの読者を少しでも引つ張り込みたいね。それが自分の給料に跳ね返ってくるよ。

——(T) はい(笑)【※48】

——(K) 次にいきます。作品を作る上でトリックと物語、どちらを先思いつきますか？

**初野** まずトリックがあつて、設定とかで奇抜なアイディアを作り、その二つを融合させてどんどん肉付けしていく感じですね。どちらかというと、自分は人工的に物語を作るんだ。箱庭というか、芝居とか舞台を作るのと同じような感覚かな。でもやっぱりトリックありきです。

——(K) では『1/2の騎士』や『退出ゲーム』では、全部トリックのストックがあつて、そこから物語を作り出していくという形だったんですか？

**初野** そうだね。膨らませる感じですよ。

——(K) 物語に必要な知識は、既存の知識があり、それを扱うように物語を書きますか？ それとも物語を書き始めてから必要な知識を補いますか？

**初野** 両方あるけど、どちらかというと前者のパターンが多い。元々ノンフィクションをたくさん読んでるから、その知識を活用して物語を書くことも多いよ。

——(K) 物語の中で、新本格の作品でよく用いられている密室・孤島・館・首切りといったような非現実的なミステリのガジェットを、初野先生は用いていないと思います。それはどうしてでしょうか？

**初野** これには理由があります。新本格で育ってきたので、もちろんその恩は本格で返したいんですけど、偉大な先代が辿ってきたのと同じレベルを歩いてもつまらないでしょ。自分が書かなくても、綾辻さんが

※45 海堂さん

『チーム・バチスタの栄光』(宝島社)の作者である海堂尊さんの執筆スピートに「スイッチが入った」らしいです。(CREA「二〇〇九年九月号、文藝春秋刊を参照」)

※46 西尾維新

『クビキリサイクル』で第二十三回メフィスト賞を受賞しデビュー。言葉遊びを含む文体と極端なキャラクター造詣が特徴。二〇〇九年には『化物語』がアニメ化されたことや「週刊少年ジャンプ」で漫画の原作を始めるなど、デビューから現在まで大ブレイク継続中の作家である。代表作は「戯言シリーズ」「ニンギョウがニンギョウ」「化物語」等。

※47 ジャンプで原作

「週刊少年ジャンプ」で現在西尾維新原作、暁月あきら作画による『めだかボックス』が大好評連載中。

※48 Tの情報

TはH川書房に入社予定です。

名作を書いてくれるし。だったら自分は違うアプロ  
チで読者層を増やしたい。それがきつと恩返しになり  
ますよね。

**M岡** 初野さん、格好良いです！

——(T) キラキラしてます！

**初野** 急にどうしたんだ(笑) 『1/2の騎士』に  
しても、アプロチの方法が本格としては少しめずら  
しいよね。本格ってさ、ある意味、お約束の世界だか  
ら、はじめて本を手取る人にはつらい一面がある。  
だからなるべく密室や館や孤島のようなガジェット  
は直接的に使っていません。

——(K) ミステリofガジェットをこれから用いる  
予定はありますか？

**初野** いくつかあるけど、でもそれは一通りネタを全  
部吐き出してから使います。例えば、今書きたいのは  
NASAのスペースシャトルの実験を舞台にした話。  
月面想定をして、畑を耕しながらテントで男女六人が  
生活する様子が、カメラで全世界に発信されてるんだ。  
そういう設定は面白いし、やってみたいね。

——(K) 読んでみたいです。ではミステリ作品の  
中で好きなトリックはありますか？

**初野** 『しあわせの書』のトリックは、型にはまらな  
いところがすごく好きです。あとはベタかもしれない  
けど、綾辻さんの『時計館の殺人』は感動したね。

——(K) 初野先生ご自身の作品の中で一番気に入  
っているトリックと作品はどれですか？ やはり先  
ほどお話に出た『漆黒の王子』でしょうか？

**初野** 思い入れが強いのは『漆黒の王子』ですけど、  
やっぱり最新作が好き。トリックはまだ納得できるも  
のではないな。もう少し書いてから言いたい。

## 交流戦 Minority —マイノリティー—

——(K) 全作品にマイノリテイな存在が登場して  
いるのは、意識してそうされているのでしょうか？

**初野** 寓話や童話の世界では、ストックキャラクター  
【※49】としての王様役や、騎士役の他に、弱者の駒  
がいるよね。自分の話があくまで作り話だから、それ  
を意識して必ず弱者を設定してる。でも普通の登場人  
物として意識も差別もしないで対等に扱うし、同情を  
訴えるような描写は絶対しないよ。誤解しないで欲  
しいけど、弱者を登場させることで何かを訴えたいつ  
て気持ちはないんだ。マイノリテイであっても主役にも  
普通の登場人物にもなりえるし、聖人君子にも大悪  
人にもなりえるし、いつ現実で自分のパートナーにな  
るかわからない。営業職を十二年続けていると、そう  
いう出会いもあるんです。

——(K) 車椅子に乗っている人物の描写で、コン  
ビニに入りづらいとか、昼時は一人だと食べに行けな  
いなど、具体的にリアルな描写がありますよね。

**初野** 身の周りに実際にいるんだ。盲目の方もいらつ  
しやる。たまにマンガとかで、生まれつき目が見えな  
い美少女とか美少年とか出てくるけど、あれはありえ  
ないよね。先天性の視覚障害者に会ったことがあれば、  
盲目の美少年や美少女なんて軽々しく書けないよ。不  
細工とかじゃなくて、表情の使い方が違うんだ。たま  
にそういう書き方をする人がいるんだけど、書かない  
でくれってご家族の方に言われたから、気をつけてい  
るよ。あとはちゃんと取材して、意見を聞いているん  
だ。

※49 ストックキャラクター  
文化的類型、もしくはステレ  
オタイプに強い基盤を持った個  
性、しゃべり方、その他特徴を  
持つ架空の人格のこと。

——(K) 車椅子の方と、同性愛者の方、あと登場人物の出身地として児童養護施設が多いと思うのですが、それはどうしてでしょうか？

初野 それも取材したことと、身の回りの比率が高いのが理由かも。身の回りや取材対象が多いと、書いていて自然とそちらに傾いちゃうね。

——(K) では、先生ご自身がマイノリティだと感じることはありますか？

初野 意識はしてないね。M岡さん、作家的な位置づけとして、俺はマイノリティですか？

M岡 オンリーワンの魅力がありますよ。

初野 ああ、でも会社では浮いてるな。

一同 (笑)

初野 挙動不審っていわれるし。

M岡 それは……作家をしていることは、会社に公表していらっしやいませんよね？

初野 秘密です。ばれたらまずい。

M岡 顔写真付きのインタビューが掲載されて、大丈夫なんですか？

初野 それは双子がいるからね。

M岡 ばれてないってすごいですね。

初野 まずばれない背景として、くやしけどみんな本を読まないんだ。

——(T) 「CREA」【※50】は目にする人がいるんじゃないでしょうか？

初野 あれでもまだ全然ばれてません。自分の本もそんなに売れてないからね。

M岡 そんなことないですよ！

初野 まだまだ知名度が低いよ。ちなみにこれ、インタビューとして成立してる？ もっとインテリジェ

ンスな話とかしたほうがいいですか？

M岡 インテリジェンスな話、してますよ。

初野 そう？ 北山先生のインタビュー【※51】をミズ研のホームページで事前に読んだんだけどさ、カッコいいこと話してるよね。あんな風にしゃべりたいと思っただ。

M岡 きつと、初野さんのインタビューも、文章で改めて読めばカッコいいはず。多分。

初野 そうかなあ？

M岡 多分……では、次の青春についてのコーナーで、カッコいいことをバシバシ仰ると良いのでは！

## 中盤戦 Blue Spring —ブルースプリング—

——(T) 以前インタビューの中で、これまでの作品を通して登場人物が若いのは「自分が通り過ぎてきた年代だからこそ書けるものがある」と仰っていましたが【※52】。ご自身より年上と年下のキャラクターを書く上で、気をつけていることはありますか？

初野 自分の経験した世代や、年下のキャラクターは普通に書けるんですね。でも年上、特におじさんキャラと異性は少し苦手意識があって、いつも冷や汗かきながら書いているんだよ(笑) 今はまだ中高生を讀者として想定してるし、実際に読んで欲しいので、年下を書くことが多いけどね。同世代以上を書くとうすると、身のまわりに生のモデルがいっぱいいるから、想像の邪魔をして書きにくいときがある。

※50 CREA

「CREA」(二〇〇九年九月号、文芸春秋刊)に初野先生の顔写真付きインタビューが掲載されています。CREAの読書特集は毎年大好評で、一昨年は売り切れたとか。同号もミス터리から歴女まで、充実した内容になっています。

※51 北山先生のインタビュー 筑波ミス研の会誌「Ans.

二十三号」に掲載された北山猛邦先生のインタビュー。初野先生に読んでいただけで結構嬉しいです。現在公式HPで公開していますので、未読の方はぜひご覧ください。

<http://tmys.nobody.jp/kitayama.pdf>

※52 書けるもの

「ダ・ヴィンチ」(二〇〇九年十一月号、メディアファクトリー刊)を参照。

——(T) 『1/2の騎士』や『退出ゲーム』のように、女の子の一人称が多いですが、とても自然に読めます。だから逆に異性の一人称のほうが書きやすいのだと思ってました。

**初野** 円やチカちゃんは、女の子と言うよりもキャラクタ―として捉えているよ。だから女性視点で深く書いてないはずだし、それでいいと思う。あと自分は男兄弟で育ったので、女性には幻想的でファンタジックなイメージがあるんだ。セクシヨナリズムな書き方はできないけど、その分自由に書けますね。

——(T) 初野先生が考える「青春時代の真理」【※53】とはなんですか？

**初野** 本質的な部分かな。どうして学校に行かなくちやいけないのとか、なんで友達を作って、部活動に参加しなきゃいけないのとかね。そういう根本的で禅問答に近いことを、なるべく書いてるつもりです。そもそもこのシリーズは、厳密に言うとう登場人物に奇人変人が多くてリアリティがないんだ。ハルタも、探偵小説の探偵役、いわゆる神の存在として意識して書いてるから。でもリアリティがなくても、高校を舞台にすることで青春の本質的な部分は書けるんだと思う。あとは困難な壁にぶつかったときの対処法かな。『初恋ソムリエ』のラジオの人生相談の話で人生の勝ち負けについて少し書いたよね。

——(S) 雀荘のお話【※54】ですか？

**初野** あれも一つの真理かもね(笑) 営業中に色々話した中で共感したことを書いたんだ。人生勝ち負けなんて、中々出てこないよ。

——(T) 初野先生ご自身が中高生のときに「どうして？」と思っていたことが、今作品に反映されているんですか？

るんですか？

**初野** そう言いたいところなんだけど、当時は考える暇がなかった。今だからこその言えることだね。

——(T) 『退出ゲーム』『初恋ソムリエ』のシリーズは、リズムカルな会話が読んでとても楽しいです。学校を舞台にした小説ということ、会話など注意していることはありますか？

**初野** あのシリーズのみルールがある。自分語りしないことと、心理描写しないことの二つ。これを徹底していると、必然的にぼんぼんぼんぼんってセンテンスが短くなるんだ。

## 心理戦 Second Job —セカンド・ジョブ—

——(S) 次に兼業作家生活について伺いたいと思います。平日は中々都合がつかないと思うのですが、編集者の方との打ち合わせは土日にするのですか？

**初野** 土日にしたいですけど、そうとも限らないです。休みを取るときは取りますよ。でも編集者との打ち合わせもそうですけど、出版界は謎だらけですね。契約や原稿料の取り決めもないまま依頼がくるし。「あのとき書くって言いましたよね」みたいな言質で成立してる、壮大な口約束の世界なんだよね。で、話を戻すと、編集者との打ち合わせは進捗確認が多いです。あと作品の内容に介入する方もいるね。

——(K) M岡さんはどうしていらっしゃるんですか？

**M岡** まだ介入する段階に、ご一緒しておりません。

※53 青春時代の真理

文蔵(二〇〇九年二月号、P  
HP研究所刊)を参照。

※54 雀荘のお話

『初恋ソムリエ』(角川書店)の百頁に出ています。圧倒的で理不尽な負けを経験したい方は、人生の教祖・サダキチの言葉に従ってみましょう。



**初野** まだ原稿出していないから、これからです。でも意見はどんどん言ってもらった方が助かる。

**M岡** そうさせてください、そのためにも原稿を……  
一同 (笑)

**初野** 他の作家さんは打ち合わせとかしてますか？

**M岡** していますよ。一番多いのは進捗確認ですね。その後原稿をちようだいしてから、電話なりお会いしたりして、疑問に思ったことなどお話させていただきます。お話の中でうかがって、舞台は〇〇なんですか？  
へえ、みたいな……。

**初野** へえ(笑)か。

**M岡** へえ、おおく、なんと！みたいな。

**初野** 編集者って大変なんだよ。俺の妄想かもしれないけど、小説家って自由奔放な個人商店なんだ。そんな小説家たちをたくさん鶴飼いの鶴みたいに持つてるわけで、気苦労は絶えないと思いますよ。

**M岡** いえいえ、全然です。

**初野** ところで小説家で営業する人っていますか？

**M岡** 営業というか……編集部にお電話下さる方はいらつしやいますね。

**初野** そうなんだ。じゃあメフィスト賞【※55】に回すんですか？

**M岡** いえ、必ずしも回すことはしないです。すでにデビューされている方は、要綱上メフィスト賞にご案内できません。ケースバイケースですね。

——(S) 作家としてお仕事をする際に、兼業であることで不都合さを感じることはありませんか？

**初野** ないですね。仕事をする脳と小説を書く脳は違うから、良い気分転換で、バランスが取れていますよ。唯一不都合さがあるとしたら、物理的な時間が結構き

びしい。今執筆のペースを上げてるんだけど、書くために一週間インフルエンザ【※56】の仮病を使っちゃったしき。もう風邪ひけないんだ、俺……。

**M岡** 仮病まで使って頂いて……ありがとうございます(涙)

**初野** そしたら職場の人がみんないい人で、「大丈夫か？」って電話くれるんだよ。だから「俺、もう死にそうです」とか情けない声で言ってる(笑)

**M岡** 死んじゃだめですよ！(笑)

**初野** 君たち、就職してからも書いたら？ 楽しいし、夢があるよ。社会人は出会いが少ないけど、兼業で何か始めると視野が急に広がる。

——(K) お話を伺う中で、初野先生は作家活動に本来のお仕事が生かされている気がします。

**初野** 営業職に転向してただけど、生かしてるね。本当はエンジニアで就職したんだけど、途中から営業に転向したんだ。接客業の方がいろんな人と会えるし断然おもしろい。社会との接点があるのはすごく良いよ。

——(S) お仕事の最中に小説のネタを思いつくことはあるんですか？

**初野** 脳が変わるからそれはないね。逆にそれが無いとバランスが崩れる。

——(S) 作家として様々な人に会う必要がある、とのことですが、具体的にそう感じた瞬間はどんな時ですか？ また、社会人としての経験が作品に生かされている場面などありましたら教えてください。

**初野** 家に閉じこもると、自分だったら世間ずれを起こすね。そう言えば、三連休の最終日に電話出たら、「もしもし」が最初の一言だった(笑) 世間との接

※55 メフィスト賞

講談社が出している小説の新人賞。枚数制限がなく決まった応募期間もない。際立った特徴として、応募作は「メフィスト」の編集者がすべて読み、受賞作を決定することが挙げられる。

筑波ミス研会員にとつては、馴染み深い賞のひとつ。「日本一とんがった賞」でもある

※56 インフルエンザ

二〇〇九年は世界中で新型コロナウイルスインフルエンザが大流行した。日本でも同年五月に国内初の感染者が確認されたのを皮切りに多くの学校が休講に追い込まれるなど甚大な被害がもたらされた。自主休講により対策を講じていた筑波大ミス研内でも感染者が数名出た。

点を長い間なくすと自分の場合は良くないな。昔は今と違ってまだ隣人との関係があったけど、今の都市部はそれさえ無いような時代だからなあ。なおさら専門で引きこもると自分にはきつい。作家の中には、追い詰められた孤独な作業で名作を生んでいる方もいらっしゃるわけだから、それがダメとはいわないよ。でもなまじ営業経験があるとなかなか戻れない。接客商売は、効率の高い社会勉強ができるから。

——(S) デビューされたとき、周囲の反応はどうでしたか？

**初野** 気づかれてないから、反応はないですよ。でも受賞したとき家族は喜んでくれましたね。ただ元々小説家願望がなくて突然なっちゃったから、地元では「えっ、なんでお前が？」って思う人が多かった。その点、反応としては意外性があったね。

——(S) この先同僚の方にバレた場合はどうなさるんですか？

**初野** バレたら全力で双子の弟のせいにしませう(笑) 一卵性だし、ぶっちゃげるよ。弟にもゲラの段階で作品を読ませるし、たまにギャグ指導を受ける。ユーモアセンスはたぶん僕より上なんですよ。「ここは、こうした方がおもしろいぞ」って、指摘を受けて「ああ、そうですね」って、直したりする。

**M岡** お二人の図、なんだかシニールですね。

**初野** さっき非日常の話をしたけど、ユーモアも同じじゃない？ 仕事で疲れきったときに自分が読みたいのは非日常とユーモア、この二つ。

——(S) 転勤を機に作家への道を模索したという記事【※57】を読んだのですが、再び転勤があった場合、また何かサブライズはありますか？

**初野** ないないないない(笑) 俺はもう四回転勤してるからね。転勤を機に環境が変化したことがきつかけで、もしかして別の道を残しておいた方がいいんじゃないかなって思ったのは確かだけど。なまじ大企業に勤めると、たまに虚しくなるんだよ。財形貯蓄とか、給料天引きで将来貯蓄型の色々なコースがあるんだけど、そうすると、俺はこの先マイホーム建てて、生涯賃金はこのくらいでってわかっちゃって寂しくなるんだよ。そういうとき、ちよつと道を踏み外してみたくならない？

**M岡** あんまりならないと思いますよ。

**初野** 若いうちはすぐあったの！

——(T) 初野先生は兼業作家ならではの作品を書いていると思います。北山先生のインタビューを私が見せていただいたとき、会社勤めをしておけばよかったっておっしゃっていました【※58】。

**初野** どっちもどっちかも。どっちが正しいかって一概に言えない。むしろ専業のほうが圧倒的に多い業界だと思うから。

——(T) この先専業作家になる可能性はありますか？

**初野** 先はわからないな。物理的な時間の確保が難しくなったら考えなくもないですね。もうすでに一杯一杯ですけど……。

※57 作家への道を模索

「ダ・ヴィンチ」(二〇〇九年十一月号、メディアファクトリー刊)を参照。

※58 会社勤めをしておけば前掲した「北山猛邦先生インタビュー」の四頁を参照。

——(T)——では作家と編集者の関係について伺わせていただきます。先ほど作品のプロットを書いて必ず編集者の方にお見せになるとおっしゃっていましたが、その段階で編集者の方と打ち合わせをしますか？

**初野** 今回K談社に書く作品はM岡さんから平安時代の資料をもらいました。たまにプロットを出した時点で、必要な資料をいただけることがあってそれは助かります。内容について話すのは書いてからだね。

——(T)——作品を直す時点で編集の方のアドバイスが具体的に作品に生かされた経験はありますか？

**初野** ありますよ。『漆黒の王子』は編集者のアドバイスで三百枚くらい削ったの。あの作品は七百枚くらいだから、最初は千枚超えてたんですよ。編集の方が優秀で、結構削ってくれてね。

——(K)——どういった部分を削るんですか？

**初野** 冗長的な文章ってあるんだよね。自分の書いた文章はかわいくて消せないけど、担当者の判断で思い切った削除ができるんだ。これは指摘してもらったほうが楽ですね。

——(T)——出版界は口約束の世界、とのことですが雑誌からの依頼はどうやって受けるんでしょうか？

**初野** 突然メールで。「いかがですか？」、「じゃあ書きまーす」って(笑)。新人作家はなかなか断れないんですよ。だからどうしても時間が厳しいとき以外は、お受けするようにしています。

——(T)——次にM岡さんにお聞きしたいのですが、作品を読む際に気をつけていることはありますか？

**M岡** 初野さんが線を引ながら読むとおっしゃっていましたが、私も気になったところは、とにかくどんどん印を付けます。そしてなんで気になったのか、どんな細かいことでも書くようにします。どうしても忘れてしまうので。あと、初めて読んだときの印象もメモするようにしています。何度も読むと、疑問に思っていたことが、いつの間にかわかった気になっちゃうので。読めば読むほど見失うときもあります。

**初野** 初期衝動は重要だね！

**M岡** 最初の感想は大事にしたいです。気合入れて読みます。

**初野** 後付けの感想は嘘っぽいからね。

——(T)——ご自身がイメージされていた編集者の仕事と、実際に編集者として働いてみたときの違いはありましたか？

**初野** もっと華やかだと思っていました？

**M岡** 華やかとは思っていませんでしたよ。イメージしていたのは、サザエさんのノリスケさん【※59】？他にイメージと言っても『マスコミ就職読本』【※60】くらいで、ほとんど覚えていない。実際に仕事につくと違いだらけです。本当に、何もわかってなかったんだなあと思います。

**初野** 編集者になったと思ったら、よりによって文三ですか。

**M岡** どういうことですか？(笑) デイープということですか？

**初野** デイープだと思いますよ。でも僕はすごい好きです。この業界では、かなり尖った新人や、チャレンジングな本格作家を発掘している気がしますが。

※59 ノリスケ

妻・タイ子、息子・イクラ。

サザエとカツオとワカメのいとこであり、伊佐坂先生の担当編集者。もしかしたら日本で一番有名な編集者かもしれない。原作では新聞社に勤めている。

蛇足だが、海藻のほうのワカメは、古来日本では「カ」にアケセントがあつたらしい。日本人はサザエさんの影響で「ワ」にアケセントが移ったという、嘘か真かわからない話がある。

※60 マスコミ就職読本

創出版から毎年出版されている、マスコミ各社の就職試験のデータを収録した本。入門編、新聞・出版編、広告・エンタテインメント編があり、マスコミ就職を目指す大学生なら必ずと言っていいほど購入する。

**M岡** 新たなチャレンジに関しては、編集部全体に意欲が溢れています。

**初野** 体育会系編集部っぽいですがね。出版業界って女性管理職が多くて、男女の雇用平等が確立されている。一般企業に行くと女性は大変だよ。同じスタートラインでも、成績とか抜きで、確実に男性のほうが昇進するスピードが速い。

——(T) そうなんですかね。

**初野** 話を戻すと、編集者の方で「初野さんのお好きなように書いてください」ではなくて、「こういう話を書いてください」という具体的なアプローチしてくる方っていらっしやる。俺には後者の方がいいし、そう言われたほうが楽。その出版社のカラーとか思いもあるだろうから編集者の意図が伝わると、仕事しやすいね。

**M岡** そうですね、肝に銘じます。

**初野** 結局、口約束の世界でしょ？ プライオリティの上位に行くには存在感出さないと……、偉そうなこと言ってますみません(笑)

——(T) 参考になります。以前編集者の方から、表紙に関しては編集に任せてもらえることもあれば、作家の方から希望がある場合もあって、それぞれ違うと伺いました。【※61】初野先生の場合は表紙や帯の文句はどうやって決めていらっしやるんですか？

**初野** 編集者の方主導です。作品は手を離れたら、あとはノータッチ。その辺は信頼しています。

——(T) お気に入りの表紙とかありますか？

**初野** 『1/2の騎士』は好きだね。『1/2の騎士』の表紙は手塚治虫のリボンの騎士風にして下さいとお願いしました。絵の具調で、原色を多くするとか編

集者と話したね。

**M岡** 『1/2の騎士』が文庫化するので、新たな読者との出会いが広がるはずですよ。

——(K) どういった表紙になるんですか？

**初野** まだデザインはきてないけど、写真になる予定。——(T) 本格らしい表紙ってあると思うんです。表紙がミステリらしくないのは、先ほどおっしゃってたように、ミステリというジャンルだけで評価されないようにするためでしょうか？

**初野** それは編集者の意向だろうね。そういう風に売りたいのかな。

——(T) 読者は手に取りやすいですよ。気軽に読めそうな印象があります。

**初野** そういつていただけると嬉しいですね。

——(T) M岡さんの目から見ると、全国のミステリ好きの憧れの文三とはどういう場所ですか？

**M岡** ミステリへの熱意溢れる場所だと思います。

**初野** 文三は一癖二癖あるし、本格には強くて非常に愛があるなあ。「メフィスト」は尖った本格ばかりですよ。本格はどちらかというと芝居とおんなじでお約束の世界だよ。知的勝負であり、ゲーム性があるところが面白くて大好き。

——(K) 自分もそのミステリが持つ形式性が面白いと思います。

**初野** ミステリは形式美と自由が共存しているエンタテインメントだね。ただそこに寄りかかりすぎると、画一的な作品になっちゃうから難しい。読者が限定されちゃう。新人はこの業界のために読者を開拓するのも仕事のひとつだと思うから、普段本を読まない人に、ミステリをどうやって読んでもらうか真剣に考えた

※61 以前編集の方から

Tが就職活動も兼ねて行ったインタビュー。Ans. 25号に掲載。

方がいい。自分のファンというか、新たな読者層を開拓しないと、競争の激しいこの業界で食っていけないだろうから。

## 一騎打ち Mystery — ミステリー —

### 対戦相手 『トワイライト☆ミュージアム』

—— (S) 『トワイライト☆ミュージアム』の続編の時代はいつでしょうか？

**初野** 平安時代の源平壇ノ浦。頭のおかしな義経と弁慶が出てきます。日本史を舞台にしてやりたかったんだよ。戦国時代じゃなくて平安時代ってところがしびれませんか？ あのシリーズはいくつか書きたい時代設定があって、楽しみだね。ノベルスだからシリーズ化しやすいし。

—— (S) 『トワイライト☆ミュージアム』と『水の時計』の二つが似ている作品だと感じたのですが、そこは意識して書かれましたか？

**初野** 脳死患者を扱うのは似てるね。『水の時計』は少し暗い話だったけど、トワイライトは救済系の話でしょ？ だから二つの作品で辻褄を合わせている部分はあるね。

—— (S) 両作品とも仕事を辞めた大人が登場する気がします。何か意図があつたことなんでしょうか？

**初野** 自然に書きちゃうから、願望なのかな(笑) ただね、転職経験を一種のスキルアップとして示してい

る。この人は結構思慮深い人なんだとか、行動力のある人なんだな、ということを経験を持たせることで暗喩してますね。

—— (S) ストーリー作りのテクニックですか？

**初野** 転職経験は人物造詣という点ではありだと思えます。現実ではなかなか怖くてできないからね。博物館の学芸員も荒唐無稽だけど、不可能じゃない。

—— (S) 実際の社会の概念を越えた仕事に携わっていますね。

### 対戦相手 『1/2の騎士』harujion』

—— (K) まず、どうして東北の地方都市が舞台となったのでしょうか？

**初野** 当時の転勤候補地が東北だったことと、何回か出張経験があつたから。イメージとしては、宮城の仙台から二駅離れた町。

—— (K) 『1/2の騎士』の中で、市役所に申請すれば高齢者向けの通話専用の携帯電話をもらえるとありました【※62】。これは実話ですか？

**初野** 聞いた話だね。福祉サービスは市町村によって異なるよ。通信料は一部負担になると思うけど。

—— (K) 『1/2の騎士』で、学校と関わりたい生徒たちの駆け込み寺として園芸部が登場しています。これとまったく同じモチーフが『初恋ソムリエ』で地学研究会という形で出てきました。これはどのような意図があるのですか？

**初野** メッセージ性はもちたくないけど、これはどうしても潜ませたい学校の真理かもしれない。学校は嫌いと言いつつも、学校から離れられない。矛盾してい

※62 通話専用の携帯電話

『1/2の騎士』(講談社ノベルス版)の百九十八頁参照。直先輩のケータイ。

るけど、そういう事実を書きたかった。やめればいいのにやめられない。それは今の十代の人って学校以外の接点がないからなんだよ。

——(K) それは以前からずっと変わらない状況ですか？

**初野** ここ数十年、普遍的なことだと思ふなあ。

——(K) ご自身の学校生活とはあまり関係はないんですか？

**初野** 経験とは関係ないよ。学校以外のコミュニティがあればいいとずっと思っている。

——(K) 作中で、サファイアが見えるための条件がマイノリティだとありました。同じマイノリティである異常犯罪者たちが、サファイアが見えるかどうかは一切描写されていないのはどうしてですか？

**初野** 円の後輩の鈴とか、先輩のおねえさんが見えない理由とかは文庫で少し足したけど、その書き込みはまだ少し弱いかもしれない。一応セクションナリズムなマイノリティっていう限定で、サファイアは見えないんだ。だから異常犯罪者は少し違う。ただそれはあくまで作者の都合の世界だからね。あの小説は円とゴリラだけ見えちゃうから非常に都合がいいんだ(笑)

——(K) 結局二人だけでしたね。

**初野** そうそう。『1/2の騎士』はゴリラやキリンのように、登場人物の記号化も狙ってます。

——(K) そのこと関連して、自分は『漆黒の王子』と『1/2の騎士』が表と裏の関係にある感じがします。

**初野** 順番に読んでいくと大体わかるよね。  
——(K) 『漆黒の王子』では、記号としての名前しか持たない下の世界の登場人物たちが、「記号とし

てわかりやすい名前のほうがいい」と答えていました。それとは逆に『1/2の騎士』の最後、養護施設でロクとサンの名前が明かされるのは『漆黒の王子』を読んだるととても感慨深いです。

**初野** それは意識してますね。最後のエピソードの中で、円はもう探偵をキリンと呼ばないし、組長代行のこともゴリラではなく本当の名前で言うよね。記号の世界から本当の名前の世界へ移行してる。

——(K) マイノリティ、社会的な弱者の存在意義や役割を語る場面が作中によく現れていると思えます。どうしてでしょうか？

**初野** 大仰しいことは考えてないし、マイノリティだからといって特別視してない。普通の登場人物。いつ自分がそういう立場になるかわからないから。マイノリティだってゲームするし、人の悪口を言うし、よく笑うし、嫉妬も、人を憎んだりもする。それでいいと思わない？ 障害者と主人公がよく喧嘩するよね。そういうシーンはすごく大事にしてる。

### 対戦相手 『退出ゲーム』『初恋ソムリエ』

——(T) 『退出ゲーム』『初恋ソムリエ』のシリーズで吹奏楽を題材にしたのはどうしてですか？

**初野** 俺は昭和的な考えで、熱血モノが好きなんだよね。熱い生徒と熱い先生みたい。吹奏楽は練習時間も長いし体育会系に近くて、先生の怒鳴り声もすごかった。高校時代は一目置いてました。あのシリーズで吹奏楽関係の資料、参考文献が一切載っていないのは、全部取材してるからなんだ。音楽経験に関しては経験

者に聞いたりしてね。チカちゃんみたいにド直球でいいじゃない。人に迷惑かけまくって、首つつこんでいくというのは、ある意味十代だから許される感じだね。ハルタも物知りだけど、あんまり屁理屈言わないよね。そこは気をつけてるよ。『初恋ソムリエ』のシリーズの続編はコンクール編なんだけど、来年の八月に出ます。

——(T) 続編は三年生ですか？

**初野** いや二年生の後半だね。普門館【※63】に行くためには部員数が足りなくて、その辻褄合わせをしなきゃいけないんだ。最初は三部作の予定だったんだけど、多分四部か五部作になる。

——(K) チカちゃんたちが卒業するまで続きますか？

**初野** 卒業後のエピソードもあるよ。普門館にいけるかは内緒ね。ところでギャグはもつとかましていいのかな。今は抑えてるんだけど。

——(K) 自分はウエルカムですけど(笑)

**初野** ホント？(笑) ミステリっていう面もあるから難しいよね。

——(S) エスペラント語【※64】がすごいツボにはまりました。

**初野** (笑) エスペラント語ネタは辞書を読んで思いついた。あれも刊行スケジュールギリギリで大変だったんだよね。

——(T) あと、ひよつとして高校はスリッパでしたか？【※65】

**初野** スリッパだよ。

——(T) 私もスリッパだったんですけど、どうも普通はスリッパじゃないらしいんです。

——(K) 静岡県だけなんですかね。

**M岡** 私は東京の学校でしたが、靴スタイルでした。

**初野** スリッパって変かな？

——(K) ズックだったんですけど。

**初野** 本当？ スリッパじゃないの？

——(T) 作中で登場人物がスリッパを履いているのを読んだら、私もスリッパだったなって思いました。それでみんなに「スリッパだった？」って聞いたたら、スリッパじゃないと。

**初野** スリッパだよ！

一同 (笑)

**初野** 学年ごとに色違いのスリッパでさ。

——(K) ズックもそうです。

**初野** ズックはむれちやうじやん。スリッパはむれな

いよ？

——(K) スリッパは走れないですよ。

**初野** だって学校だから走っちゃいけないんだよ。

——(T) 理にかなってますよね。

**初野** 安いし。あとスリッパはよく飛ぶんだよね。

**M岡** そうでしょうね。

**初野** あれは楽しいんだ。

——(T) すいません、最後がスリッパで。

**初野** いえいえ、よく気付いてくれました。

※63 普門館

仏教の在家団体「立正佼成会」が所有するホール。全日本吹奏楽連盟・朝日新聞社主催の全日本吹奏楽コンクールが毎年開催されている。別名「吹奏楽の甲子園」。

※64 エスペラント語

『初恋ソムリエ』の表題作より。すべての人の国際補助語を目指して、ラザロ・ルドヴィコ・ザメンホフが創案した人工言語。

※65 スリッパ

同じく『初恋ソムリエ』に収録されている「スプリングラフイ」に、生徒がスリッパである物を踏んでしまうという記述があります。スリッパでも画びょうを仕掛けられたりするのでし  
ようか？(K) ↑しません。ちなみにスリッパはものすごく滑りやすいので、雨の日は必ず誰かが階段の踊り場で転びます。上手く履きこなすためには、スリッパ独自の体重移動の方法を習得しなければなりません。スリッパは奥が深いのです。

## 対戦相手 「カマラとアマラの丘」

——(K) スティーヴン・キングの「ペットセメタリー」【※66】という作品をご存知ですか？

初野 知ってるよ。

——(K) 「カマラとアマラの丘」で、動物霊園にペットセメタリーとルビをふっていらしたので、もしかしららって思っています。

初野 そうです。キング様は最高です。個人的にマイベストを挙げると言われたら「デッドゾーン」かな。エンタメ小説として崇拜する部分はいっぱいあって、恐れ多いんですが、小説家になってからすくなくならず意識してしまうこともある。影響はされないけど。

——(K) ありがとうございます。確認できてよかったです。

(注 以下作品の核心部分に触れていますので、未読の方はご注意ください)

——(K) それとこの作品で初めて叙述トリックを使っていますよね。やはり使わないように意識しているんですか？

初野 あれは単純にペットセメタリー、動物霊園ものやりたくて話を煮詰めたんだ。客がペットの飼い主と思わせておいて実は……、つていうのが面白いと考えてさ。周りに目撃者も登場人物も誰もいない。真夜中の閉鎖された遊園地で閉じる感じだね。動物が私という設定はなかなかないでしょ？ ある？

T 『×××××？』

初野 ああああつ！！！！ あつた！ そうか。

T すいませんっ。

一同 (笑)

## 休戦 Fresh Cream —生クリーム—

——(S) 続いて初野先生の好みを探る質問をしていきます。まず好きな仮面ライダーは誰ですか？

初野 俺はアマゾン【※67】だね！ あいつつて喋れないじゃん。「うごお、うごお」とか言つてさ。それと敵の怪人が怖くてトラウマになる。Xライダーやストロンガーとか、昔の仮面ライダーシリーズが良いね。ストロンガー格好いいよな。あとはレインボーマン【※68】が好き。死ぬ死ぬ団【※69】と戦う特撮モノね。昔の特撮は良かったね。ウルトラマンシリーズも好きだよ。昭和限定だけど。

——(K) やっぱウルトラセブンですか？

初野 俺はね、レオが好き。ヌンチャクが武器なんだ。

M岡 レオ、ちよつとマイナーですね。

初野 ウルトランマンエースも良いな。セブンは良いんだけど怪獣特撮ドラマとしての醍醐味が少ない。

——(K) テーマ性を重視していますからね。

初野 そうだね。メトロン星人とちやぶぶ台はさんで会議するなよつてガキのころ思いましたよ【※70】。

——(S) 好きな映画は何でしょうか？

初野 最近見た映画だと「かもめ食堂」が面白かった。(T) 良かったです。シンプルな料理がすごく

※66 「ペットセメタリー」

死んだ猫を近所の動物霊園に埋めたら蘇ったから、そこに人間も埋めちゃう物語。

※67 アマゾン

『仮面ライダーアマゾン』(七十四〜七十五年)。変身ポーズを覚えてたければ、『ネット版仮面ライダーディケイド オールライダー超スピノフ』『変身!! アマゾンは男を見せる!』を参照。腰巻と「ア〜マ〜ゾオオ〜ン」と叫ぶことが外せないポイント。

※68 レインボーマン

川内康範原作。七種の姿に変身するレインボーマンことやマトタケシと死ぬ死ぬ団の戦いを描く。

※69 死ぬ死ぬ団

日本没落と日本人抹殺を企む秘密結社。挿入歌「死ぬ死ぬ団のテーマ」は、一番だけでも「死ぬ」を二十九回歌っている。

※70 メトロン星人とちやぶぶ台

『ウルトラセブン』第八話「狙われた街」(一九六七年)より。



おいしそうで。ちよつとファンタジックでしたね。

**初野** そうだね。あの食堂は非日常で浮いてるよね。

——(K) 『漆黒の王子』で「エレファントマン」に言及されていましたよね？【※71】

**初野** あとは「マスク」【※72】って映画もイメージにあったんだよ。「マスク」は「エレファントマン」と同じ病気を扱った映画なんだ。「エレファントマン」では姿を隠してるけど、「マスク」は隠さないからすごくエグいんだ。『漆黒の王子』ではその二つがあるね。

——(K) 好きな作品というわけではないんですか？

**初野** 印象に残っていて、少年期にトラウマになったアニメだと「時をかける少女」「千年女優」がよかった。宮崎駿さんの作品はあまり見ないけど自分の中では、「未来少年コナン」が好き。

——(K) 「千年女優」のネタを使っていますませんでしたか？

**初野** ああ！ チカちゃんだ。「そんなわたしが好きな」みたいな。あれはパロディっぽいよね。

——(T) 青春映画では何かありますか？

**初野** 北野武さんの「キッズリターン」が良かったね。挫折を経験してこれからどうしようかっていうテーマがあつて、それが青春の本質に迫っていると思う

——(S) 好きなゲームはなんですか？

**初野** 俺さ、ゲームはずつとセガだったの。セガ・マークⅢから入って、マスターシステム、セガサターンと進んだ。だからゲームで友達できなかったんだよ。——(K) セガ派って滅多にいないですからね。ま

さかドリームキャストまで買っていないですよ？

**初野** 買ったよ！ ドリームキャストまで行き着いて生産中止じゃん【※73】。今更戻れないよ(笑) だから今はやる時間ないけどファミコンを買ってさ。少年期をやり直している感じ。

——(K) それではゲームの中で好きなタイトルを三つぐらい挙げていただいてもいいですか？

**初野** 知名度の高いものを挙げると「ファンタシースター」【※74】、「ファンタジーゾーン」、「バーチャレーシング」。最近シューティングゲームにハマってるんだ。これはセガじゃないんだけど、PS2で「虫姫さま」【※75】っていうゲームがあつて、弾幕系【※76】だね。しびれるよね。画面一杯の弾をちまちま避けるのが好き。刹那的なゲームが好きなんだね。ロールプレイングとか全然ダメなんだ。

——(S) 好きな音楽はなんでしょう？

**初野** 高校時代はPSY・S【※77】が好きで聞いたね。最近もやっぱり八〇年代、九〇年代のミュージックばかり聞いているね。今月は俺の中でプリンセス・プリンセス【※78】月間だよ。プリプリは、日本のガールズバンドの中では依然としてトップだと思うよ。あとはジャズを聞くね。それとラジオファン。家ではFM愛知をずつと聞いてます。ラジオは日本語の勉強になるから良いよ。

——(K) 日本語の勉強ですか？

**初野** パーンナリティーがリスナーに届く日本語で話すからね。言葉の使い方や、間のとり方の勉強にもなるよ。ラジオって耳で聞いて想像するでしょ。情報量もテレビと遜色ないからためになるよ。

※71 「エレファントマン」

角川版『漆黒の王子』一五七頁で高遠が言及している。

※72 「マスク」

ジム・キャリー主演のコメディ映画「マスク」でないので注意。

※73 生産中止じゃん

「セガなんてだっせーよな」「がんばれ！ 湯川専務」というCMは印象に残っている人も多いだろう。二〇〇一年三月製造終了。

※74 「ファンタシースター」

セガを代表するシリーズ。「ファンタシースターポータブル2nd」(PSP) が売り出し中。

※75 「虫姫さま」

ケイブの製作した縦スクロールシューティングゲーム。

※76 弾幕系

弾幕系シューティングゲームのこと。敵の放つ大量の弾(弾幕)を、その間に生まれるわずかな隙間をぬって回避すること。

—— (S) 名古屋名物でおすすめはありますか？

**初野** 名古屋名物は揚げ物とか甘いものが多いからすぐ飽きるね。あえて言うなら手羽先が美味い。スナック菓子のように食えるよ。

—— (S) 出身地の静岡ではどうでしょうか？

**初野** 黒はんぺん【※79】。

**M岡** 黒はんぺん？ 静岡おでんの具ですか？

**初野** そうそう。黒はんぺんはイワシのつみれに近いんだよ。東京で食うはんぺんは、白くてフカフカじゃん。邪道だね。

—— (T) 大学に入って初めて白いはんぺんを見ました。

**初野** ビックリだよ。

—— (S) 好きな食べ物とお酒はなんですか？

**初野** 酒はあんまり飲まないんだ。M岡さんの好きな食べ物はなんですか？

**M岡** グラタンですね。朝・昼・晩、毎日食べてもいい。甘いものも大好きです。初野さんはどうですか？

**初野** 俺も甘いものは何でも好き。昔あんこを作って、タッパに入れてスプーンで食うのが好きだった。

—— (K) 自分もジャムを買ってスプーンで食べてました。

**初野** おっ！ わかるだろ？

**M岡** えっ…ジャムを食べる…ヤバイ。

**初野** うまいうまいって感じでき。

**M岡** そこまで好きだと、味が変わらなくてもいいんですね。

—— (T) 赤福【※80】とか最高ですね。

**初野** 最高です。あとはマイ生クリームとか作ってさ。

**M岡** それは甘い物好きの夢ですが、危険過ぎる。

**初野** 植物性生クリームは飽きるので、動物性で試してみてください。

**M岡** そうですね、週末辺りにでも。

**初野** ガキのころさ、生クリームチューブを口に含んで食いたかった。実際にやったよ。

**M岡** 大丈夫ですか、初野さん。相当疲れてますね？好きな食べ物、生クリームになってしまいますよ。

**初野** 食に興味がないんだよね。最近カロリーメイトばかり食ってるからさ。お腹一杯になると眠くなるんだよ。だから腹四分目くらいで維持してる。ああ…、それにしても生クリーム食いたいな。

**M岡** 私もちよつと食べたくなってきました。

**初野** 一本ストックしておく、コーヒーに入れたり、食パンに塗ったり楽しみが広がるよ。

**M岡** 一人暮らしだからもう大変なことになります。初野 でも二日で全部使いきるよ。

**M岡** そんなに保たないですよ？

**初野** プリンを買ってきてぐわーってかけるとうまいんだよ。

**M岡** 好きな食べ物は、生クリームということですか？

**初野** 生クリームフェチです。

を主とするシューティングゲーム。

※77 P H Y ・ S

日本の音楽ユニット。代表曲「サイレントソング」「Angel Night〜天使のいる場所〜」など。

※78 プリンセス・プリンセス 八十三年から九十六年にかけて活動したガールズバンド。

「Diamonds」『Lovers』でミリオンセラー達成。

※79 黒はんぺん

静岡全域で食べられているはんぺん。材料が鰯や鯖なので、灰色をしています。静岡では、はんぺんといえはこれしかありません。オスメの食べ方ははんぺんフライ。

※80 赤福

お餅を漉し餡で包んだ、伊勢の名物です。箱を空けた瞬間は、一面餡子が敷き詰められるようにしか見えないうらい餡子たっぷり。一度食べると癖になる美味しさです。

——(S) 好きな○○シリーズもこれで最後になります。最近の関心ごとは何でしょうか？

**初野** この不景気がいつまで続くのかということですね。

**M岡** 生クリームから一転、急に格好いいです。

**初野** 営業の数字にも関わるから関心事ですね。出版業界はまだ傷が軽いほうだと思いますよ。広告媒体を主としている雑誌部門はきついけど、書籍はそんなに他の業界に比べるとダウンは少ないはず。前年比で売上減は十パーセントくらいでしょ？

**M岡** 本当に、この不景気はいつまで続くんでしょうか？

**初野** やっぱり出版不況を打破するためには付録【※81】か！

**M岡** 初野さんのノベルスにですか！？

**初野** ビックリナイフとか入れたらどう？(笑)

**M岡** 斬新な著者提案、ありがとうございます(笑)

### 後日談 ありがとうございます。

——(T) では、今後の刊行予定を教えてくださいませんか？

**初野** まず『トワイライト☆ミュージアム』の続編が出ます。それに『退出ゲーム』シリーズの第三弾。それで今年の八月までの予定は埋まっています、そのあと年内に新作を一冊講談社さんから出したい。ちよつとシリーズものが続いたからね。あとは「カマラとアマラの丘」の連作を完成させたいですね。これも三作目

まではもうできていて、あと一作で終わり。そのあとは長編が三本あります。

——(K) 構想は大体決まっているんですか？

**初野** もうプロットも全部送ったよ。

——(T) では来年は三冊出版されるんですね。

**初野** 出したいですね。兼業で三作はひとつの壁だから来年は様子見です。そうすると『トワイライト☆ミュージアム』の第三弾は次の翌年って話になるよね。年一作のペースでいいですか？ それとももっと早く？

**M岡** シリーズであることを考えると、一年以上空けずに刊行できるのが理想です。早い分にはいかようにも。

**初野** そうなると仕事やめようかな。

一同 (笑)

——(T) 作品によって違うと思うんですが、長編一本の執筆にどのくらいかかりますか？

**初野** 今年の『トワイライト☆ミュージアム』で言うと、一本四ヶ月とか五ヶ月ぐらいかな。決して早いほうじゃない。早い人はもつと書きますよね。

**M岡** いえいえ、兼業されていることを思うと、早いペースだと思います。

——(T) では最後に、よろしければ筑波大学ミステリー研究会に一言お願いします。

**初野** なるべくオリジナルの短編とかを書いたほうが楽しいよ。以前某ミステリー研究会に行ったんだけど、昔と比べて書く人は大分減ったね。そこはちよつと寂しい。やっぱり書いてなんぼだし、下手でもいいからトライして欲しい。読書会のようなコミュニティ

※81 付録

出版不況といわれ雑誌の休刊が相次ぐ中、毎月付録を付けた女性誌「sweet」(宝島社刊)や人気ブランドとコラボレーションしたムック本などが人気を博しています。講談社ノベルスらしい付録、期待してます！

は全国で星の数ほどあるけど、書いて冊子にできるのはミス研の強みじゃん。

——(T) そうですね。では以上で質問は終わります。本日は長時間ありがとうございます。

M岡 ありがとうございます。

初野 ありがとうございます。

### 1/3の会員(T)の謝辞

これで四回目のインタビューでしたが、後輩と一緒に行くのは初めてだったので、前回までとはまた違う緊張感がありました。今まで先輩に助けていただき、きた私が、二人に対してそうできたのは多に疑問が残るところですね…。

少しアドバイスをするなら、①誌面を想定して質問を考える(受け売り)、②書き起こしは丁寧にする、③書き言葉と話し言葉に気をつける、くらいかな。

そして、なにより初野先生と、K談社のM岡様には、一大学サークルからの依頼にもかかわらず大変よくしていただきました。お二人のご厚意に深く感謝いたします。

今春から社会人になりますが、いつか初野先生とお仕事をさせていただけるように頑張ります！

### 1/3の会員(K)の謝辞

ミス研にいる間に好きな作家の方にインタビューしたいと常々考えていました。それがかなっただけでもうれしいのに、自分が最も注目させていただいてる作家、初野晴先生がインタビューのお相手だったのは僥倖としか言いようがありませんでした。

テープ起こしでは、自分の声を聴くたびに、「もつとはつきりしゃべって！」とか「語尾まで言ってくれよ……」など独り言がひどかったかもしれせん。初野先生のすばらしい美声、M岡さんの上品な声、T先輩のはつきりした声に囲まれた自分の声の、なんと聞き辛いことか。穴があつたら入りたい気分にも陥り、しょうがないからこたつの中ですっぽりと入りました。次回にインタビューする人は、自分の声を一度録音して聞いてみてから行きましょう。絶望します。三人もインタビュアーがいるという悪条件のなか、素敵すぎるお話をしてくださった初野先生。依頼の取次ぎから当日の手配など、何から何までしてくださったM岡さん。どうもありがとうございました。

### 1/3の会員(S)の謝辞

まず初めに、ご多忙にも関わらずインタビューに答えてくださった初野晴先生とM岡さんに対しては感謝の言葉しか浮かびません。ありがとうございます。次に個人的な反省を。T先輩とK先輩、私もインタビューに同行すると言ったにも関わらずにほとんど何もできなくてすみませんでした。今回のインタビューの成功は全て私以外の関係者の皆さんの力です。本当に申し訳ありません。

そんな不肖の私ですが今回のインタビューでは初野先生をはじめとしてM岡さんや先輩方から数多くの事を学びました。仕事に対する考え方から創作への態度、文字起こしのコツなど挙げればきりがありません。私もいつかは素晴らしい先輩方に並べるように精進したいと思います。

初野先生、M岡さん本当にありがとうございました。